



公明党 小ノ澤 哲也 18
市民に負担を掛けさせるな

問 ワクチン接種の予約で電話やネットがつながらず高齢者を中心に大変な苦勞をさせている。市民の負担を無くすため今後の市長の決意を伺いたい。

答 市長 ワクチン接種は、感染症の発症を予防し、感染拡大を防ぐものとして、市民の関心が大きく、私も同じ思いである。

現在、川越市医師会をはじめ各医療機関の協力

を得て接種を進めているが、さらに接種回数を増やす必要がある。一方で、接種できない人や接種を希望しない人への配慮も必要である。いずれにしても、接種を希望する人が一日も早く接種できるよう、最優先事業として、私も含め職員一丸となって取り組んでいく決意である。

問 ワクチン接種の諸課題



自由民主党 栗原 瑞治 19
高齢者デジタル対応の現状

問 今後の高齢者デジタル講習などへの活用のためにも、高齢者のデジタル活用の現状について、より詳しく把握していくべきと考えるが市の見解は。

答 福祉部長 今後、高齢者がデジタル化から取り残されないよう、来年度、本市における第9期介護保険事業計画の策定に向け、各種調査を実施していく予定である。デジタ



問 高齢者デジタル対応



政策フォーラム 片野 広隆 20
児童の国語力向上にむけて

問 児童生徒の国語力の低下が顕著である。全ての教科において、読解力や論理的思考に通じる国語力の向上にむけた重点的な取り組みが必要では？

答 教育長 川越授業スタンダードである、めあて・見通し・学び合い・まとめ・振り返り、の学習過程を定着させることによつて、特に中心的な言語活動の場となる、学び

合い、を充実させ、国語の資質・能力を高めていくと考えている。学力向上は喫緊の課題と認識しており、学力向上プランの定着をさらに図り、教員が授業改善に努め、児童生徒の国語力、そして、確かな学力の育成に向けて取り組んでいきたいと考えている。

問 国語力向上にむけて



日本共産党 柿田 有一 21
コロナへの今後の対応は

問 保健所を持つ本市は検査に消極的な国と比べ一定の役割を果たした。ワクチン、検査、感染者対応が並行する今後について保健所はどう見るか。

答 保健医療部長 保健所は、積極的疫学調査を実施し、濃厚接触者の特定などを行い、必要に応じて検査対象を拡大し、陽性者の早期発見に努めてきた。また、福祉部と協

力し高齢者施設等の従事者の検査を継続的に実施することにより、クラスターの発生を抑えるよう努めてきた。今後、基本的な感染症対策の推進、積極的疫学調査などを継続して行っていくことおよびワクチン接種を進めることにより、感染者数を抑制していきたいと考えている。

問 コロナから暮らしを守る



日本共産党 池浜 あけみ 22
除草剤使用の十分な検討を

問 都市公園の多くで使用のグリホサート系除草剤は、脳や生殖系への悪影響も危惧される。少しでも環境に影響の少ないものに変えるべきでは。

答 市長 市で管理している多くの公園を、市民が利用しやすい状態に保つため、除草剤は必要最小限で使用している。今後、使用する除草剤の種類について、環境への影響等

を比較検討し、環境負荷の少ないものを選択するなど、適正な使用に努める。

問 文化施設などの運営

問 除草剤の健康への影響

問 土手を含む道路整備



日本共産党 今野 英子 23
後期高齢者へ大きな影響

問 後期高齢者への医療費2割負担は、受診抑制や病気の悪化など大きな影響が及ぶと考えるが市長の見解は。

答 市長 団塊の世代が75歳以上の高齢者となり現役世代の負担が大きく上昇することが想定される中、現役世代の負担上昇を抑えながら、全ての世代が安心できる社会保障制度の構築が求められ、

見直しが行われたものと認識している。本市においても多くの人々に影響を及ぼす想定されるが、その影響を抑えられるように、健康診査、各種がん検診の受診率を上げるなど高齢者の健康づくりに取り組んでいく。

問 安心して暮らせる施策

問 施設のバリアフリー化

